



## 第23回牛 入 宅 の 情 境

**手話サークル** 「あひるの会」も来年で10周年を迎えることになります。今年はたくさんの方々が入部して、増え活気が出てきました。夏には合宿もあり、先輩後輩の交流も深まります。卒業された先輩方や先生の力で作ってきたサークルが10周年を迎えるに

いらっしゃいますか。  
きびしい御指導の中、  
先生の軽快で、巧妙なお茶  
しゃべりが、楽しかった  
ことと、終わり頃のお茶  
と、高級和菓子がいただ  
けることがうれしかった  
ことが思い出されます。  
新宿の真中で、地道にお  
けいこに励んで下さい。  
遠くでも応援しています。

礼儀作法も身に付きました。大変ためになります。時間がありましたら、足を運び下さい。お待ちしています。

人ですが和気あ  
いあいと、厳しい  
作法にもめげず。  
がんばっています。  
練習が終わつ  
た後のお茶とお  
菓子はとつても  
おいしく、厳しか  
つた練習のこと  
も忘れてしまい  
ます。先生もその  
頃にはとても優  
しい尼さんに戻  
っています。

# ♪♪ クラブ紹介 ♪♪

社会医学研究会 社医研です。私達は、現在三年生二名、二年五名、一年生一名計八名です。看学三年間の短い間を、学内だけでなく広い視野で、自分たちのやりたいこと知りたいと思うことを、自分たちの意志で活動しています。

茶道部



思い出ひとつ増やしませんか

**ANA //**

のんびり列車での御旅行をはじめ  
飛行機での空の旅、グループ、サークル旅行、パッケージ旅行、  
海の向こうへの御旅行も全ておまかせ下さい。







**死に行く子供の  
叫びを聞いて**

看9 堀内悦子

(5) 平成2年10月発行

## 同窓会便り



卒業後16年現在は弘大付属病院小児科病棟に勤務しています。当病棟は41床中15床が血液疾患で、ほとんどが白血病の子供たちです。白血病の治療成績は、近年著明に向上了し、治療したと思われる子供も増加していますが、不幸にも治療効果が得られず、死を余儀なくされる子供も少なくありません。私は、この数年間に多くの死と直面した子供たちと関わってまいりました。子供は、ほんどの場合「死への不安」は口に出して表現できず、「痛み」として訴えます。

「ママ痛いよ!」の一言の中に、たくさん不安や思いが含まれている

「終末医療(看護)について思う事」  
梅田秀子

現在、私の勤める病院は、130名程の入院患者の大半が、60歳過ぎの高齢者である。しかも脳卒中や神経難病疾患、ADLが安定期しても、家族の受け入れが悪く、慢性的な経過を辿るうちに、帰らぬ人となる。

確かに、病人を抱える家族は、それぞれ事情もあり大変であろうが、日々を追う毎に、面会も減つて行くのが現状である。

最終的に、接触を絶た

度となく目にして、この時私は、看護婦として何が出来たのだろ

うに。

死期が近づくにつれて

その訴えは、「痛いよ!早く看護婦

さんを呼んできて!」の

声に変わつていきま

す。痛みから助けてくれ

るのは家族ではなく、医療スタッフであること

を、子供ながらに認識するのです。そんな中でも

痛みの緩和されたわずか

の時間に、子供は二つコ

リいつもと変わらぬ笑顔

を見せてくれます。この

よくな私、出来るだけ

ペッタサイドに寄り、

子供の望むままに絵本を

読んだり、歌を唱つたり

します。そうするといつ

の間にかスヤスヤ眠り始

めています。子供が眠つ相

している時は母親の話しお

話をいたしまして有難うございました。

大変お忙しい中原橋

生の方に原稿をいただきま

せました。ターミナルス

テージでの看護について

は今看護婦だけでなく一

般の人々の間でも大変関

心が高まっています。私

達は看護婦となつたその

日から今日に至るまで

ずっと看取りの看護につ

いて日々考え、悩み、学

んでいます。今回いただ

いた原稿もそれぞれ患

者、そして家族との関わ

りの中での思いが書か

れて、この様な形で臨床の

現場を知る機会に恵まれ

ました。たことを嬉しく思いま

す。

（ママ痛いよ!）の一

言の中に、たくさん不

安や思いが含まれている

ようです。

「早く痛くなくなればい

い! そしたらあのゲーム

をしたい! あの絵本を読

み』として訴えます。

「ママ痛いよ!」の一

言の中に、たくさん不

安や思いが含まれている

ようです。

「終末医療(看護)について思う事」  
梅田秀子

現在、私の勤める病院は、130名程の入院患者の大半が、60歳過ぎの高齢者である。しかも脳卒中や神経難病疾患、ADLが安定期しても、家族の受け入れが悪く、慢性的な経過を辿るうちに、帰らぬ人となる。

確かに、病人を抱える家族は、それぞれ事情もあり大変であろうが、日々を追う毎に、面会も減つて行くのが現状である。

最終的に、接觸を絶た

度となく目にして、この時私は、看護婦として何が出来たのだろ

うに。

死期が近づくにつれて

その訴えは、「痛いよ!早く看護婦

さんを呼んできて!」の

声に変わつていきま

す。痛みから助けてくれ

るのは家族ではなく、医療

スタッフであること

を、子供ながらに認識す

るのです。その中でも

したと思われる子供も増

加していますが、不幸に

も治療効果が得られず、

死を余儀なくされる子供

も少なくありません。

私は、この数年間に多く

の死と直面した子供でした

と関わってまいりました。

子供は、ほんどの場合

「死への不安」は口に出

して表現できず、「痛み」として訴えます。

「ママ痛いよ!」の一

言の中に、たくさん不

安や思いが含まれている

ようです。

「終末医療(看護)について思う事」  
梅田秀子

現在、私の勤める病院は、130名程の入院患者の大半が、60歳過ぎの高齢者である。しかも脳卒中や神経難病疾患、ADLが安定期しても、家族の受け入れが悪く、慢性的な経過を辿るうちに、帰らぬ人となる。

確かに、病人を抱える家族は、それぞれ事情もあり大変であろうが、日々を追う毎に、面会も減つて行くのが現状である。

最終的に、接觸を絶た

度となく目にして、この時私は、看護婦として何が出来たのだろ

うに。

死期が近づくにつれて

その訴えは、「痛いよ!早く看護婦

さんを呼んできて!」の

声に変わつていきま

す。痛みから助けてくれ

るのは家族ではなく、医療

スタッフであること

を、子供ながらに認識す

るのです。その中でも

したと思われる子供も増

加していますが、不幸に

も治療効果が得られず、

死を余儀なくされる子供

も少なくありません。

私は、この数年間に多く

の死と直面した子供でした

と関わってまいりました。

子供は、ほんどの場合

「死への不安」は口に出

して表現できず、「痛み」として訴えます。

「ママ痛いよ!」の一

言の中に、たくさん不

安や思いが含まれている

ようです。

「終末医療(看護)について思う事」  
梅田秀子

現在、私の勤める病院は、130名程の入院患者の大半が、60歳過ぎの高齢者である。しかも脳卒中や神経難病疾患、ADLが安定期しても、家族の受け入れが悪く、慢性的な経過を辿るうちに、帰らぬ人となる。

確かに、病人を抱える家族は、それぞれ事情もあり大変であろうが、日々を追う毎に、面会も減つて行くのが現状である。

最終的に、接觸を絶た

度となく目にして、この時私は、看護婦として何が出来たのだろ

うに。

死期が近づくにつれて

その訴えは、「痛いよ!早く看護婦

さんを呼んできて!」の

声に変わつていきま

す。痛みから助けてくれ

のは家族ではなく、医療

スタッフであること

を、子供ながらに認識す

るのです。その中でも

したと思われる子供も増

加していますが、不幸に

も治療効果が得られず、

死を余儀なくされる子供

も少なくありません。

私は、この数年間に多く

の死と直面した子供でした

と関わってまいりました。

子供は、ほんどの場合

「死への不安」は口に出

して表現できず、「痛み」として訴えます。

「ママ痛いよ!」の一

言の中に、たくさん不

安や思いが含まれている

ようです。

「終末医療(看護)について思う事」  
梅田秀子

現在、私の勤める病院は、130名程の入院患者の大半が、60歳過ぎの高齢者である。しかも脳卒中や神経難病疾患、ADLが安定期としても、家族の受け入れが悪く、慢性的な経過を辿るうちに、帰らぬ人となる。

確かに、病人を抱える家族は、それぞれ事情もあり大変であろうが、日々を追う毎に、面会も減つて行くのが現状である。

最終的に、接觸を絶た

度となく目にして、この時私は、看護婦として何が出来たのだろ

うに。

死期が近づくにつれて

その訴えは、「痛いよ!早く看護婦

さんを呼んできて!」の

声に変わつていきま

す。痛みから助けてくれ

のは家族ではなく、医療

スタッフであること

を、子供ながらに認識す

るのです。その中でも

したと思われる子供も増

加していますが、不幸に

も治療効果が得られず、

死を余儀なくされる子供

も少なくありません。

私は、この数年間に多く

</div





